



県内で確認した茶害虫クワシロカイガラムシの土着天敵



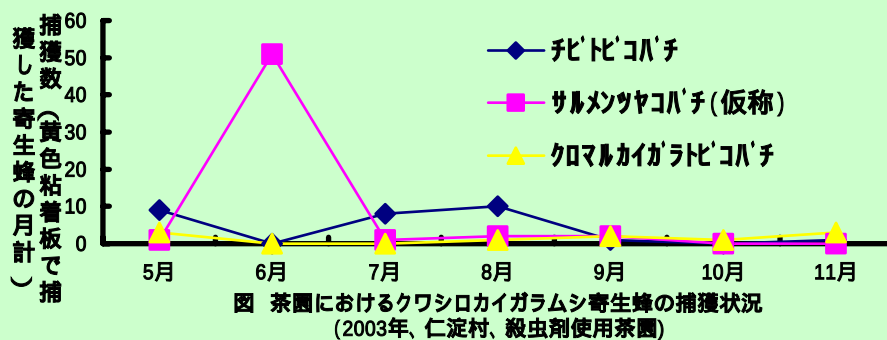
寄生蜂チビトビコバチ

雌成虫（体長0.3～0.5mm）



寄生蜂サルメンツヤコバチ

（仮称）成虫（体長0.7mm）



クワシロカイガラムシは、枝に寄生して樹液を吸い、茶樹を枯らす害虫です。しかし、茶樹内に生息し、体の表面が介殻で覆われているため、農薬による防除が難しい害虫です。

そこで、クワシロカイガラムシの防除に天敵の働きを積極的に活用するため、県内に生息する土着の天敵を探索しました。

その結果、土着天敵として有望と考えられる寄生蜂のチビトビコバチ、サルメンツヤコバチ（仮称）およびクロマルカイガラトビコバチが、県内茶園では初めて多数確認されました。また、種類までは特定できていませんが、天敵の可能性があるテントウムシ類やタマバエ類も多数捕獲されました。

今後、土着天敵を活用した防除体系を確立するため、さらに調査を進めていく予定です。

（茶業試験場 田村 綾 0889-32-1024）

高知県農業技術センターニュース 第37号

平成16年10月1日

農業技術センター

〒783-0023 高知県南国市廿枝1100

TEL(088)863-4912

FAX(088)863-4913

農業技術センター山間試験部

〒789-0315 長岡郡大豊町中村大王3523-7

TEL(0887)72-0058

FAX(0887)72-1544

編集発行 高知県農業技術センター

所長 吾妻 浅男

果樹試験場

〒780-8064 高知市朝倉丁268

TEL(088)844-1120

FAX(088)840-3816

茶業試験場

〒781-1801 高岡郡仁淀村森2792

TEL(0889)32-1024

FAX(0889)32-1152